

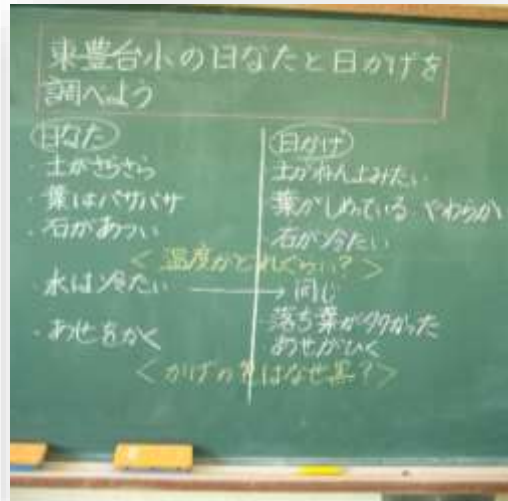
とうほうだい 授業だより (3年 理科)

今日の5時間目、授業観察で教室を回っていると、先生の丁寧な、とても見やすく分かりやすい板書が目に入ってきました。しかし、中をのぞいて見ると、教室には誰も居らず、どうやら、みんな運動場で実験・観察をしているようでした。

授業科目は理科。単元名は、「地面のようすと太陽」です。

昨日の11月7日は、二十四節季でいう「立冬」でした。これから、12月22日の「冬至」の日まで日脚は、ますます短くなっていきます。このこと等、今行っている学習(知識)が、児童の生活の中での感覚(経験)と結びついてくれればと願います。

最後に机上のノートを見て回ると、どの児童も美しい文字で、色鉛筆、定規も使い、丁寧にまとめていました。きっと他の教科のノートもそうなんだろうと、感心・安心しました。丁寧さは、学力が身に付き、伸びる一つの条件だと思っています。



学力が、身に付き、
伸びる 条件

◎ ていねい

◎ 続ける

上の二つが大切だと思います。